

英語「を」学ぶ力と英語「で」学ぶ力を一体的に育む授業開発

英語科研究部

1 はじめに

現行の小学校学習指導要領では、3・4年生の外国語活動において「聞くこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」の2技能3領域、5・6年生の外国語科において「聞くこと」「読むこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の4技能5領域ごとに目標が設定されている。本校の英語科（本校における外国語活動・外国語科の総称）においては、1・2年生で年間25時間の外国語活動を実施し、音声を中心として英語に慣れ親しむ活動を行っている。また、3・4年生では、年間60時間の外国語活動を実施し、中学年から高学年に上がるにつれて、慣れ親しみの段階から技能を定着し、活用する段階へと徐々に移行しながら、中学校での英語学習への円滑な接続を図っている。

2 英語「を」学ぶ力

英語科研究部では、本校の児童の実態・これまでの10年間の英語科の取り組み・現在の小学校英語教育で求められていることをふまえ、次の2点を英語「を」学ぶ力として設定した。

- ・異なる場面や状況であっても、既習の表現や伝え方を生かして発表・やり取りを続ける力
- ・各学年段階に応じて、アルファベットや単語・文を正しく読んだり書いたりする力

英語科の授業では、どの学年においても理解可能なインプット（comprehensive input）を多く与え、児童ができるだけ多くの英語に触れるようにしている。しかし、週に1・2時間の授業では、十分に技能を身につけたとしても時間が経つと忘れてしまったり、既習の表現や伝え方を生かしたコミュニケーションができなかったりなどの課題が見られる。そのため、英語「を」学ぶ力として、異なる場面や状況であっても、既習の表現や相手意識をふまえた伝え方を生かして、発表・やり取りを続ける力を育みたい。そこで、単元内・他単元において、学んだ表現を異なる場面・状況で繰り返し活用する機会を設けることで、語彙・表現の確実な定着や目的意識・相手意識のあるコミュニケーションのための思考力・判断力・表現力の育成を図る。

読み書きについては、個人差が大きいことが課題である。高学年において、アルフ

アベットの書きとりが難しい児童もいれば、伝えたい内容を考えて自分で文を書くことができる児童もいる。現行の学習指導要領では、読むこと・書くことの目標と内容が高学年から設定されているが、低・中学年段階においてそれらの素地を育むための指導方法を確立し、各学年段階に応じて、系統的に身につけられるように指導したい。

3 英語「で」学ぶ力

英語「で」学ぶ力を次のように設定した。

- ・学んだ英語を生かして、他教科や学校行事などのトピックについて、英語で思考・判断・表現する力
- ・国際交流活動を通して、英語を用いて自分たちの文化について考えたり、異文化に対する理解を深めたりする力

現行の小学校学習指導要領（外国語活動・外国語編）では、歌やゲームを中心とした言語学習だけではなく、思考を伴った言語活動や知的好奇心を刺激するような題材を取り扱うなどの工夫が求められており、他教科の学習内容と関連付けた指導の必要性が示唆されている。池田（2011）は、英語そのものを学ぶのではなく、英語で何かを学ぶことについて、「教室という学びの空間における最も自然な言語使用の機会を生み出す」「学習者の既存の知識、知的好奇心、認知力に働きかけることで学習への動機づけを高める」といった効果があることを示している。そこで、英語で何かを学ぶための指導法として親和性が高いと考えられている CLIL（Content and Language Integrated Learning：内容言語統合型学習）の考え方を、授業実践に取り入れる。内容に比重を置きすぎると学ぶ英語が難解になることから、英語科での学習内容を中心とした Soft CLIL を実践し、他教科や学校行事、季節のものなど子どもが興味をもつトピックを部分的に取り入れた授業を開発する。

また、今年度英語科では3～6年生の授業において、海外の小学校3校と主にビデオレターや手紙を通した国際交流活動を行っている。英語で学校や文化について紹介し合う活動を通して、自分たちの国や学校の文化について改めて考えたり、異文化に対する理解を深めたりできるようにしたい。そして、学習した語彙や表現を用いて、伝え方を工夫しながら紹介し、英語運用能力を身につけていくことで、英語「を」学ぶ力と英語「で」学ぶ力を一体的に育んでいきたい。（文責 山田 竜誠）

【引用・参考文献】

- ・池田真（2011）「第1章 CLIL の基本原理」渡部良典・池田真・和泉伸一（共著）『CLIL（内容言語統合型学習）上智大学外国語教育の新たな挑戦 第一巻 原理と方法』上智大学出版。
- ・文部科学省（2018）『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語科編』開隆堂出版。